

7 ページ「まちの情報広場」掲載記事

『東松島市史』編さん事業が始まりました



令和7年度(2025年度)実施予定の市制施行20周年記念事業の一環として、市全体の歴史について記録し、事実の掘り起こしを通して市民の地域に対する理解と郷土愛を深め、将来のまちづくりにつなげることを目的に、東松島市の20年の歩みをまとめた『東松島市史』の編さん事業が、令和6年4月から始まりました。

『東松島市史』は「市史本編」と「市史概要版」を刊行することとし、令和6年度末までに市制施行20周年記念誌と位置付けた「市史概要版」(約16ページ)の完成を目指します。

また、「市史本編」については、令和7年度中の完成を目標に、市内の各分野の代表者等で構成する『東松島市市史編さん有識者委員会』を立ち上げ、監修を依頼することにより、各分野の記述の精度を高めるとともに市民皆さまの理解と協力を得ながら、編さん作業に取り組んでいきます。

『矢本町史』『鳴瀬町誌』の在庫について

合併前の旧町時代に刊行された『矢本町史』(昭和63年(1988年)までに全5巻)、『鳴瀬町誌』(昭和48年(1973年)に初版、昭和60年(1985年)に増補改訂版)について、いずれも販売可能な在庫はありません。

■問 総務部市史編纂室 ☎内線1281・1282

10 ページ「シティビュー」掲載記事



編さん事業の基本方針やスケジュールを確認

東松島市市史編さん有識者委員会の令和6年度第1回会議が開かれ、渥美市長が市内のまちづくり協議会や各分野の団体などから推薦された代表者22名に委員の委嘱状を交付しました。任期は令和8年8月4日までの2年間。会議では、委員長に橋本孝一市商工会会長、副委員長に阿部英一市社会福祉協議会会長を選出し、市史編さん事業計画や会議予定などを委員と事務担当者が確認しました。『東松島市史』編さん事業と東松島市市史編さん有識者委員会に関する概要は、7ページに掲載していますので参照ください。

(8月5日、市役所)

市史編さん本格始動
初の有識者委員会開催